

# 『音楽で祈る世界平和』 — 創立35周年を迎えて —

公益財団法人アルカディア音楽芸術財団・理事長  
音楽プロデューサー、フルート奏者 中村 八千代



シンガポール『メサイア』公演

アグネス・グロスマン(指揮)、寺本郁子(ソプラノ)、  
湯浅富士郎(バス)ほか、アルカディア室内管弦楽団、  
同室内合唱団にシンガポールACJC高校の生徒100名も共演  
—シンガポール ヴィクトリア・コンサートホールにて—

1992. 12. 21

理事長を務める公益財団法人アルカディア音楽芸術財団は、今年創立35周年、財団設立19年、公益財団法人移行5年を迎えました。独唱者や独奏者、室内オーケストラ、混声合唱団や女声合唱団を率いて、主催公演や依頼公演で年間20回程度の演奏会を芦屋市、神戸市を拠点として関西各地で開催しています。病院や老人ホームの慰問コンサート、関西各地の小、中、高等学校公演も行い、地域住民に身近な演奏を提供し音楽の普及振興に努めています。

また海外では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オーストラリア、中米の各地に外務省や音楽祭から招かれて、16回の海外公演を実施し、



寺本郁子ドイツ歌曲リサイタル in ウィーン  
寺本郁子とピアノ伴奏のケネス・スミス  
—ウィーン シュベルト教会にて—

2007. 7. 17

アフリカを除く世界の大陸で公演しました。これらの活動が評価され、1991年に『井植文化賞』、2001年に『兵庫県芸術奨励賞』、2013年に『兵庫県文化功労者表彰(理事長 中村八千代)』、昨年11月に『芦屋市民文化賞』を受賞する他多数受賞しています。私は大学を卒業してすぐにドイツに留学し、3年半の間フルートの研鑽を積み、同時に市立音楽学校2校のフルート講師を務め、またドイツ各地のコンサートホールや教会で数多くのコンサートに出演しました。ドイツで学んだバロック音楽や宗教音楽等クラシック音楽の魅力を、日本でも多くの人に伝えたいと



ラジオ・カナダ(国営放送)主催 イースターコンサート

ハイドゥン『スターバト・マーテル』のリハーサル風景

アグネス・グロスマン(指揮) 寺本郁子(ソプラノ)

—カナダ モントリオール市ヴィジタシオン教会—

コンサート 2003. 4. 6

ラジオ放送 2003. 4. 20

いう熱い思いから、帰国後すぐに当財団  
専属ソプラノ歌手の寺本郁子さんと、合  
唱団やオーケストラの団員を集めて演奏  
活動を始め、16年後の1996年に財団法人  
の認可を得て、さらに2010年内閣府より  
公益財団法人の認定を得ました。

全ての主催演奏会には盲導犬同伴など  
の視覚障がい者の方々をご招待して、  
点字や拡大のプログラム等も作成し配布し  
ています。視覚障がい者の方々を盲導犬  
同伴でコンサート会場に招待する事は、  
まだ介助犬に対する理解が少ない今から  
22年前の1993年からクラシック音楽界  
で私達が最初に始めた事業でした。



第2回ヨーロッパ演奏ツアー

アルカディア室内合唱団(女声)の左手前は寺本郁子

—ドイツ ミュンヘン聖ミハエル教会にて— 1985. 8. 29



寺本郁子ソプラノ・リサイタル in グアテマラ

寺本郁子、中村八千代(フルート)にピアノ伴奏のケネス・スミス(右より)

観客のスタンディング・オベーションに応えて

—グアテマラ ケツァルテンango市立劇場にて—

2003. 2. 21

さらに19年前からは、『盲導犬とともに音楽を  
愛でる会』というコンサートも開催し盲導犬育  
成のための寄附を継続しています。

海外公演も大切な事業で、これまでドイツ、  
イタリア、オーストリアの各地、シンガポール、  
バングラデシュ、そしてアメリカやカナダの各地  
と中米のグアテマラやオーストラリア各地で  
演奏をして来ました。外務省や各国大使館からの  
依頼を受け、中米のグアテマラやアジアの最貧国  
バングラデシュのような開発途上の国々でクラシッ  
ク音楽界から初めて公演しました。

2003年の公演当時のグアテマラは、36年間続いた内戦が終結して間もなく、治安が不安定でした。

その為私達の行動には24時間武装した警察官が護衛して下さいました。200年以上前のコロニアル様式の劇場でのリニューアル柿落とし公演は、満員の観客からの熱狂的なスタンディング・オベーションで、無事に終える事が出来ました。内戦の終結後、まだまだ人々の生活は安全で平和にはなっていなかったのですが、音楽を通して両国の心の交流は一気に広がり深まったと感じました。音楽の素晴らしい力によって両国間の友好や交流を深め、音楽の持つ大きな使命の一端を果たせたように思いました。

3年前の2012年12月に、長年の悲願でもありました

財団活動の本拠地となる『アルカディア・グレースホール』と『アルカディア・マリーサロン』を阪急『芦屋川』駅前に開館致しました。ホールとサロン共に広く一般に貸館として活用され、コンサート開催のみならず講演会、会議、レクチャー等にもご利用頂いています。これらの施設がグローバルな文化の発信地点となり文化向上に貢献して、演奏者や聴衆の皆様にも末長く愛されるホールとなりますよう願っています。

皆様からの温かいご支援を頂き創立35周年を迎えられましたことに、心よりの感謝と御礼を申し上げます。今後も魂に響く至福の音楽を1人でも多くの方々に届けたいという願いを込めて、音楽芸術活動を続けていきたいと思っております。